

えがおプラス

大腸カメラのタイミングは心配になったその時です 小さなポリープのうちに切除することで予防につながります

『大腸がんは心配。でも大腸カメラはやりたくない』そのように考えて、検査をためらっていませんか？
大腸がんは早期に発見して適切な治療をすれば、治る可能性が非常に高いがんです。

💡 大腸がんは予防できる？

大腸がんには、予防できるものや治るものがあります。大腸にできるポリープ（良性の腫瘍）は、サイズが大きくなるにつれて、がんへと変化する可能性が高くなります。しかし、ポリープの段階ではお腹の痛みや出血などの自覚症状がないことがほとんどです。そのため、症状がないうちから検査を受け、大きくなる前にポリープを切除することが、多くの大腸がんを未然に防ぐことにつながります。

日本消化器内視鏡学会のガイドラインでは、がん化のリスクを考慮して6ミリメートル以上のポリープを切除することが推奨されてきました。しかし最近では、さらに小さな段階からポリープを切除することで、がんをより確実に予防しようという考え方が普及しつつあります。最新の指針でも、6ミリメートル未満の小さなポリープについて、患者さんの希望に応じて切除を選択できるようになりました。

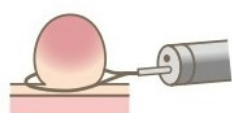
💡 当院の新治療：体に優しい「日帰りCSP」とは？

「小さいうちから切除してがんを予防する」という新しい選択肢を、安全かつ手軽に受けていただくため、当院では新しく日帰りCSP（コールドスネアポリペクトミー）を導入いたします。

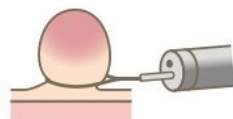
従来のポリープ切除は電気の熱で焼き切っていましたが、CSPは電気を使わず、金属の輪っかでポリープを切り取る体に優しい治療法です。



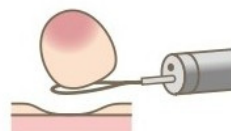
CSP（コールドスネアポリペクトミー）のメリット



1 スネアをポリープにかけます



2 スパッと切ります



3 切除した組織を回収します

出血のリスクが非常に低い

従来の治療は熱で焼き切っていたため、後から出血するリスクがありました。CSPは熱を使わないため腸へのダメージが少なく、日帰りで受けていただけます。

小さなポリープはその場で解決

検査中に見つかった小さなポリープをその場ですぐに切除できるため、治療のために何度も来院していただく必要がありません。

💡 便潜血検査だけで十分？



大腸がんの検診として、便に混じった血液を調べる「便潜血検査」が広く行われています。検診で陽性になったから大腸カメラを受ける方も多くいらっしゃいます。しかし、この検査にはいくつかの注意点があります。



出血がなければ見つけれない
大腸がんがあっても、検査をした日にたまたま出血がなければ、血液は検出されません



ポリープの段階では反応しない
がんになる前の大腸ポリープの段階では、便潜血検査で陽性にならないことが多くあります

便潜血検査は有効な検査ですが、すべての大腸がんやポリープを発見できるわけではありません。大腸がんの早期発見や予防としては不十分な場合があるのです。一方で、実際に腸の中を直接目で見て細かく確認できる「大腸カメラ」は、**確実性の高い検査**です。

💡 いつ大腸カメラをしたらよいか？

便秘や下痢が続く、便が細くなる、血が混じるといった便通の異常がある場合は、早めに大腸カメラを受ける必要があります。しかし、症状が全くなくても「大腸がんが心配という方はたくさんいます。

40歳代から大腸がんにかかる人は増えるとされていますが、私が外来で患者さんから「いつ受けたらいいですか？」と聞かれたとき、私たちはいつもこうお答えしています。

“**心配になったその時が大腸カメラのタイミングです！**”

少しでも不安を感じたときは、
ぜひお気軽に当院へご相談ください

／ 執筆を担当してくれたのは ／

消化器内科

伊東 哲宏 医師

日本内科学会認定医 総合内科専門医
日本消化器内視鏡病学会専門医
日本消化器病学会専門医・指導医



ちょこっと



禁酒や節酒、日常的な運動に加え、牛・豚肉やハムなどの食べすぎを控えることが、大腸がんのリスクを下げるかとされています。最近の研究でも、「健康的な食事と運動を続けたグループは、大腸がんの発症率が約20%低かった」と報告されています。生活習慣を見直すことは、最高のがん予防といえるかもしれません。

次号もお楽しみに！



松本市立病院

Matsumoto City Hospital

TEL.0263-92-3027 (病院代表)

予約受付時間 13:30~16:30

※当日の受診相談やご予約については、常に受付しています